

## Japanese university students' stigma and attitudes toward seeking professional psychological help

### 日本人大学生におけるスティグマと 心理専門職に対する援助要請態度の関連

伊奈 萌 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科  
森田美弥子 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科

本研究では、心理専門職に対する援助要請の促進方法について検討することを目的として、社会的スティグマの認知、自己スティグマおよび心理専門職に対する援助要請態度の関連を検討した。加えて、各変数の性差についても検討した。日本人大学生に対して質問紙調査を実施し、435名を分析対象とした。t検定の結果、心理専門職に対する援助要請態度と自己スティグマにおいては性差が見られなかった。その一方で、社会的スティグマについては、男性よりも女性の方が認知していることが示された。このように性差が確認されたことから、変数間の関連は性別ごとに検討した。多母集団同時分析の結果、男女ともに、社会的スティグマの認知は自己スティグマと正の関連を持ち、自己スティグマは心理専門職に対する援助要請態度と負の関連を持つことが示された。このことから、社会的スティグマを認知している者の心理専門職に対する援助要請への抵抗を低減するうえで、自己スティグマを低減するアプローチが有効であることが示唆された。

**キーワード:** 社会的スティグマの認知、自己スティグマ、援助要請態度、大学生